

中山間地は日本の原点。守ります、築きます、中山間地域の暮らしを。

県政をもっと身近に！

# 県政報告

## 第15号

令和5年1月



島根県議会議員

高橋まさひこ

高橋まさひこ事務所 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東1888 TEL0854-43-8057

「第八波」を迎えた新型コロナウイルス感染症の心配を抱きながら新しい年が幕開けしました。

昨年を振り返れば、安倍晋三元首相が凶弾に倒れる衝撃的な事件、ロシアのウクライナ侵攻に伴う世界経済の混乱は、私たちの心や生活を大きく揺さぶり、どう対処すべきか、混とんの中をさまよっている状況が続いています。

閉塞感が漂うのは日本だけでなく、ロシアのほかミサイルを乱発する北朝鮮、東シナ海を中心に不穏な動きをみせる中国はもとより、二年前の米連邦議会議事堂襲撃を想起す年明けのブラジルでの暴徒の動きには、ただならぬ不気味さを覚えます。民主主義の根幹が問われる事態です。

四月には統一地方選挙があります。人と人との交流こそが地方の強み。少子化対策が肝の日本の将来は地方の発展にかかっています。過疎に悩む中山間地域の活力を求め、勇往邁進しようではありませんか！

### 令和四年 十一月定例会

(十一月二十日～十二月十六日)

### 高橋まさひこ 一般質問

- ① 中山間地域の定住対策について
- ② 産業振興について

### ① 中山間地域の定住対策について

**問** 地域おこし協力隊の任期後の定住状況は。

**答** 藤井洋一・地域振興部長

制度が開始された平成21年度から令和2年度の12年間で任期を終了された417名のうち、58.3%に当たる243名の方が県内に定住されており、直近3年間では定住率は68.8%に改善している。

**問** 中山間地域の空き家の課題とその対策について。

**答** 五十川泰史・土木部長

市町村による空き家を活用した定住対策の取組を支援するしまね定住推進住宅整備支援事業を行っている。

この事業は定住者向けの賃貸住宅の整備や空き家バンクに登録する住宅の家財等の処分やハウスクリーニングの費用に対して、県が補助を行うものである。



**問** 半農半Xの状況と対策について。

**答** 西村秀樹・農林水産部長

集落営農の担い手が不足していることを踏まえ、県としても、地域が必要とする多様な担い手を確保するため、事業実施主体である市町村からXの仕事のひとつとして、集落営農への参画を推奨してもらうほか、半農半Xの実践者が集落

営農のオペレーターの従事される場合にその活動を支援する事業を令和2年度に創設している。

**問** 半農半Xから将来の農業後継者育成のための、もうかる農業対策の普及について。

**答** 西村・農林水産部長

水田園芸を規模拡大だけではなく、複数の農家が協力して行う拠点方式により推進しており、経営規模立地条件にかかわらず、中山間地域においても取り組めるよう、共同利用施設などの仕組みづくりを進めている。

他方、人づくりの視点では、半農半Xのほか、専門の自営就農を目指す方に対するアプローチもを行っている。具体的には、自営就農を目指す方が法人に雇用されながら研修を行えるよう、県と農業法人が担い手育成協定を締結し、研修から水田園芸や有機農業などへの就農、生活、その後の経営までをイメージできる包括的就農パッケージなどの取組も行っている。

### ② 産業振興について

**問** 県内の各産業へのコロナ及びエネルギー、原材料等価格高騰の影響と対策について伺う。

**答** 田中麻里・商工労働部長

コロナの感染拡大は、地域経済に多大な影響を及ぼし、商工業等の分野では、特に飲食業、観光業をはじめ、需要の縮小などにより売上げが減少し、多くの中小企業がいまだに厳しい経営状況にある。その対策としてプレミアム飲食券の発行や全国旅行支援などの消費喚起策により地域経済を下支えするとともに、コロナ資金など制度融資の拡充で事業者の事業継続を支援している。

コロナの影響でエネルギー、原材料等の価格が高騰し、県内事業者の経営が圧迫されている。そのため、資金繰りを継続的に支援しながら、エネルギーコストの削減や生産性の向上に向けた補助事業などにより、事業者の経営基盤の強化を図っている。

農業の分野では、輸入に大きく依存している飼料の価格高騰により収益が悪化している畜産、酪農への対策として、配合飼料や粗飼料の購入支援や自給飼料の生産、流通の拡大を図る緊急支援事業を実施している。

また、医療、介護等の分野では、経費の増加分が報酬等に転嫁できない医療機関、介護施設等への対策として、施設、事業所の規模に応じた応援金を支給するために必要となる予算を今議会に提案している。

**問** 県内の企業が行う新たな取組への支援策の概要について伺う。

**答** 田中・商工労働部長

製造業については、新商品の開発や新分野への進出などの取組に対し、市場調査、製品開発、販路開拓拡大など、事業化までの段階に応じた支援を行っている。

非製造業に対する支援策としてはコロナ禍で落ち込んだ売上げの回復のための取組、原油価格、物価高騰の中で収益の確保を図るための取組、新たな分野への進出や新商品の開発などの取組に対して、必要な設備の導入や改修について、経費の一部を補助している。

## 木次線シリーズ ラッピング列車 運行開始



### 乗って残そう 木次線

1月13日、ラッピング列車の運行が開始され、JR木次駅にて、木次線利活用推進協議会主催でお披露目式がありました。

- 「桜」のピンク
  - 「自然・棚田」の黄緑
  - 「斐伊川」の水色
  - 「たたら」のグレー
- をテーマとした4種類のデザイン。



動画をご覧ください  
お披露目式の様子を写した動画はこちらから見れます

**問** ネット販売に取り組み事業者への支援策について伺う。

**答** 田中・商工労働部長  
デジタル化や販路拡大等に向けたセミナーや相談会の開催、専門家派遣や補助事業の実施などにより支援を行っている。

魅力あるサイトの構築や更新、効果的に運用できる人材の確保、育成などの課題があり、デジタル化推進の各種施策と連携し、引き続き支援を行っていく。

**問** 空き家のリフォームの実施とともに、当該物件のリース方式を採用し、いずれ自分のものになるように行政サイドで検討する必要があるか。

**答** 藤井・地域振興部長  
しまね定住推進住宅整備支援事業により、県外からの移住者や県内に定住しようとする若者等の住まいを確保するため、空き家を賃

#### 一般質問動画 (YouTube)



中山間地域 定住対策



産業振興 について

貸物件として市町村が利活用する場合に費用の一部を助成している。農業用ハウス整備事業では、新規就農者の初期投資を軽減するため、市町村やJAがリースの主体となつてハウス等の提供を行うことが可能である。

このような取組を空き家活用の場面でも生かすという提案については、借主側の需要はあるのか、実現に当たりどのような課題があるのかといった点を確認していく必要がある。

取組の実施主体は、住宅施策の主たる担い手である市町村であり、市町村とも意見交換をしたい。

## 11月補正予算 コロナ禍における原油価格・物価高騰対策や早急に対応すべきものへの措置として、総額 約239億円 が計上されました。

### ① 原油高騰・物価高騰対策 (約46億8千万円)

- ・農林水産業への支援 (約5億4千万円) 省エネルギー化や資材整備等
- ・畜産経営やきのこ生産への緊急支援 (約3億4千万円)
- ・中小企業への支援 (約17億1千万円) エネルギーコスト削減に向けた設備投資等
- ・医療機関・社会福祉施設等への支援 (約13億9千万円)
- ・公共交通事業者等への支援 (約4億1千万円)



### ① 観光需要の喚起 (約32億2千万円)

全国旅行支援の実施



### ② 出産・子育て応援交付金 (約8億7千万円)



### ③ 公共事業 (約161億2千万円)

国土強靱化対策やTPP対策の実施

県議会の動向、  
詳しい活動状況  
に興味ある方は  
アクセスを!



公式サイト



YouTube



Facebook

今年の新年は少し曇り日でしたが、穏やかなお正月を迎えることができました。コロナ禍ではありましたが、規制も行われず、帰省される方も多く、各地の初詣は久しぶりに賑わっていました。三年間も続くコロナ感染の終息と平和な生活に戻る願いを託された方も多かったと思います。私もその一人です。

さて、新しい年を迎えましたが、世界情勢は依然として厳しい状況が続いています。グローバル経済の中では国際分業が進み、それぞれが国の強みを生かし、生産コストの低減で発展してきました。しかし、ロシアのウクライナ侵略で資源や食料等の国際メカニズムが崩れ、各国ともコロナ対策に加え対応に追われています。

日本は、国際分業を進める中で、優れた工業製品の輸出を基本にしたため、一次産業の衰退が進んできました。国際分業の前提は、世界が平和でなければ実現できないことが証明される結果となっています。1989年のベルリンの壁崩壊で東側と西側の対立が無くなつていきましたが、今や中

国の台頭で再び東西対立が表面化し始めています。特に心配されるのが食料問題です。現在の状況以前から穀物市場において、中国の輸入が拡大し、その経済力をバックに大量買い付けを行っています。人口減少により経済力が低下する日本ですので、食料安保はより現実な問題となつてきました。国際分業で特に影響を受け、人口減少が続く中山間地域ですが、安全・安心な食料や環境維持など大きな役目を果たしていることを再認識して頂く必要があります。

中山間地域を歩くと、荒廃した農地でイノシシが自由奔放に荒らしている形跡が数多く見られます。本当にこれで良いでしょうか。空き家が目に付く一方、近居や2世代住宅も見られます。また、空き家のリフォーム住宅も見られます。新しい人々。現在住んでいる人々。中山間地域の経済対策とともに、住宅対策も大きな課題となっています。新年を迎える事により、世界平和を願うとともに、中山間地域の役割を改めて認識する機会となりました。

